

観光振興について



高橋 輝

質問

友愛の森再整備の基本方針は

町 既存施設の有効活用を行う

問 再整備に関する基本方針は。

答 道の駅としての機能強化や那須観光の起爆剤とすることをコンセプトとし、既存施設の有効活用を行う。新築する施設は必要最低限の面積にし、事業費の節減に努める。現在、再整備基本計画を策定している。

問

再整備計画にはマイクロプラスチックの23%を占めるともいわれる人工芝の箇所があるが、環境汚染を考慮し天然芝等にするべきではないか。

答

コスト削減のため、再整備計画に人工芝エリアは入っていないが、環境には十分配慮して整備計画を進める。

※1「マイクロプラスチック」

約5ミリメートル以下の小さなプラスチックのかけら。主に、海に漂ううちに紫外線や波の影響などで細かく分解されたプラスチックゴミのこと。

問 直売所の慢性的な品薄の原因とそれを解消するための方策は。

答

出荷農家の高齢化、労働力不足等が原因と考えられる。直売所組合に出荷量増加に向けて取り組みを行うよう要望していく。



この一般質問の映像はこちらから



道の駅那須高原友愛の森

湯本地区振興について

質問

湯本地区振興の取り組みは

町 駐車場不足、空き家に対し協議等を行う

問 不足している駐車場整備の考えは。

答 地区内の遊休地の活用を那須温泉街湯本地区振興協議会と協議をしている。

問

所有者へ改善のお願いをしている。昨年は2軒の空き家が解体された。

問 実証実験をしたパーク&バスライドの結果は。

答

公有財産活用検討委員会において、地域の意見も聞きながら検討を進めるが、4月に閉校したばかりなので、まだ具体的な検討には入っていない。

問 1回の実施に2500万円の費用がかかる。国庫補助が半額は出たが、現在は実施していない。

問 県に対し、那須街道の歩道整備の要望は行っているのか。

答 以前から要望活動を行っている。今後も計画的な要望活動を実施したいが、所有者不明の土地があるなど進捗を妨げる要因もある。

問 空き家、廃屋の対策は。



湯本の鹿の湯

※ほかに「高齢者、障がい者福祉について」の質問もしています。